



コムラサキ

見沼自然散策

2024.9.14

見沼たんぼ地域ガイドクラブ



アカボシゴマダラ



クズ



スズメウリ

クズの花は葉の陰から甘い香りを出して虫を呼ぶ。そこにやってくるのはウラギンシジミ。つぼみの間に産卵、孵化した幼虫は花を食べて育つ

カラスウリより小さいからスズメウリ。実が熟すと白くなる



キンガヤツリ



ウラギンシジミ幼虫

ウラギンシジミの幼虫はクズのつぼみを食べる。からだの色も紫色



クモも子孫を残す季節
シロカネイソウロウグモ



クモと卵のう



ジョロウグモ



アジアイトトンボ



アオモンイトトンボ



ウチワヤンマ



チョウトンボ



アキアカネ



ナツアカネ

ひらひらと飛び姿がチョウのようなチョウトンボ

ナツアカネは夏にもこのあたりで見られるので名がついた。暑いのが苦手なアキアカネは夏を山で過ごし、秋、里に下りてたんぼなどに産卵する



ショウジョウトンボ



ハイイロチョッキリ



切り取られたシラカシの枝

ハイイロチョッキリ

ドングリが落ちている。よく見れば、枝が切られていて、これはハイイロチョッキリの仕業。まだ若い実に穴をあけて卵を産み、枝から切り落とす。中でふ化した幼虫はドングリを食べて育ち、晩秋、ドングリから出て土に潜って蛹になる。羽化は翌年の夏



コフキゾウムシ